

注意事項

- * 本プロトコールは簡易版です。初めてのご使用の際には必ず取扱説明書をご確認ください。
- * 試料は新鮮なもの又は -20°C 以下で保存したものを使用して下さい。保存料は使用しないでください。
- * 試薬及びプレートは、使用前に必ず室温 (20~25°C) に戻して下さい。

1. 試薬の調製

- (1) WR (Working Reagent: HRP 標識抗 CRP 抗体試薬) の調製
 - ① HRP 標識抗 CRP 抗体 (100×) 全量を R-1 のボトルへ添加する。
 - ② R-1 のボトルラベルのチェックボックスへ印 (R-1) を付け、これを WR: Working Reagent とする。
- (2) WB (Wash Buffer: 洗浄液) の調製
 洗浄液 (10×) 全量を精製水で 10 倍に希釈し、WB: Wash Buffer とする。
- (3) 検量線標準試料の調製
 標準試料 (CRP 1,000 ng/mL) を Diluent にて希釈する。

標準試料の希釈例

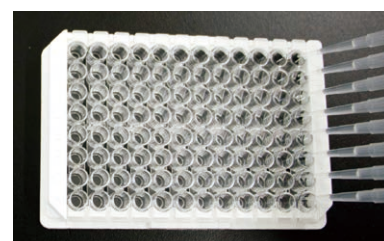
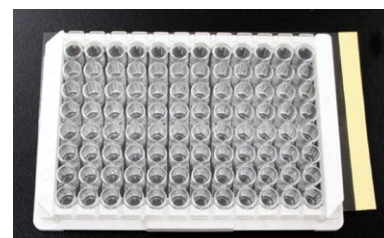
No.	開始濃度 (ng/mL)	終濃度 (ng/mL)	試料 (μ L)	<u>Diluent</u> (μ L)	総量 (μ L)
1	1,000	10	10	990	1,000
2	10	5	300	300	600
3	5	1	120	480	600
4	1	0.5	300	300	600
5	0.5	0.25	300	300	600
6	0.25	0.125	300	300	600
7	0.125	0.0625	300	300	600

2. 測定試料の調製

5,000 – 25,000 倍程度に Diluent にて希釈し、測定試料とする。

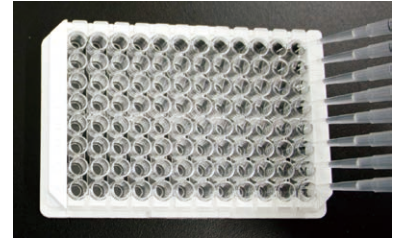
3. 測定

- (1) 抗体固相化プレートを洗浄する。(WB 300 μ L/ ウェル × 3 回)
- (2) 洗浄済みの抗体固相化プレートに、Diluent、各検量線試料、測定試料を 100 μ L/ ウェル分注する。(各試料 2 ウェルずつ)
- (3) 抗体固相化プレートにプレートシールを貼り、室温で 1 時間反応させる。
- (4) 反応液を捨て、抗体固相化プレートを洗浄する。(WB 300 μ L/ ウェル × 3 回)
- (5) 抗体固相化プレートに、WR 100 μ L/ ウェルを添加する。

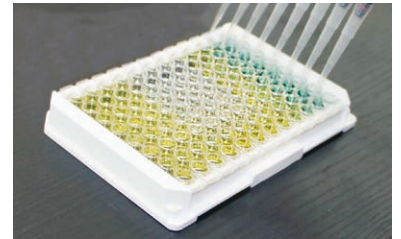


(前ページからの続き)

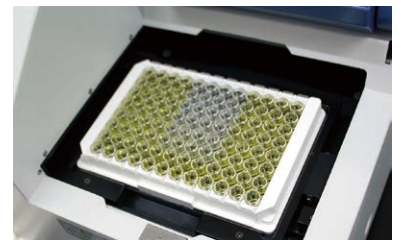
(6) 抗体固相化プレートにプレートシールを貼り、室温で 1 時間反応させる。

(7) 反応液を捨て、抗体固相化プレートを洗浄する。(WB 300 μ L/ ウェル \times 3 回)(8) 抗体固相化プレートに、R-2 100 μ L/ ウェルを添加する。

(9) 抗体固相化プレートを、マイクロプレートシェーカーなどで振とうし、遮光して室温で 30 分間反応させる。

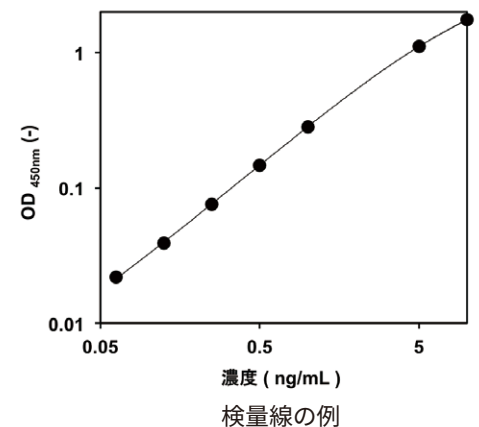
(10) 抗体固相化プレートに、R-3 100 μ L/ ウェルを添加する。

(11) 450 nm の吸光度を測定する。



4. 測定値の算出

- (1) 試料毎に吸光度の平均値を求める。
- (2) 検量線試料の CRP 濃度に対する吸光度をプロットし、検量線を作成する。
- (3) 検量線より試料中の CRP 濃度を読み取る。



製造販売業者
問い合わせ先

セルスペクト株式会社 〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 1-10-82 ※クオンテスタは、セルスペクト株式会社の試薬キットの名称です。

メタロジェニクス株式会社 〒260-0015 千葉市中央区富士見 1-14-13 千葉大栄ビル

TEL : 043-227-6767 e-mail : sales@ak-j.com

FAX : 043-227-6768 URL : <http://metallogenics.co.jp/>